

議会だより



晴れやかな笑顔で・成人式

新しい議会構成でスタート

- ◇ 新生議会で発進します ……2～3P
- ◇ 災害公営住宅建設協定 ……4～6P
- ◇ 第7回配分 東日本大震災復興交付金
9億5,059万5千円交付決定 ……7P
- ◇ 一般質問6名の議員が町の考えを問う…11P
- ◇ 町民の声 ……18P

平成25年
第4回 定例会

[12月16日～12月20日]

議会構成



副議長 阿部 幸夫



議長 櫻井 公一

平成25年第4回定例会が14人の新議員で、12月16日から20日までの会期で開かれました。
正副議長の選挙、各委員会委員の選任など、新しい議会の構成が決定しました。
また、議会選出の監査委員の選任に同意し、条例の制定・一部改正、補正予算などの議案を審議し、原案のとおり可決しました。

新年明けましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては輝かしい新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。

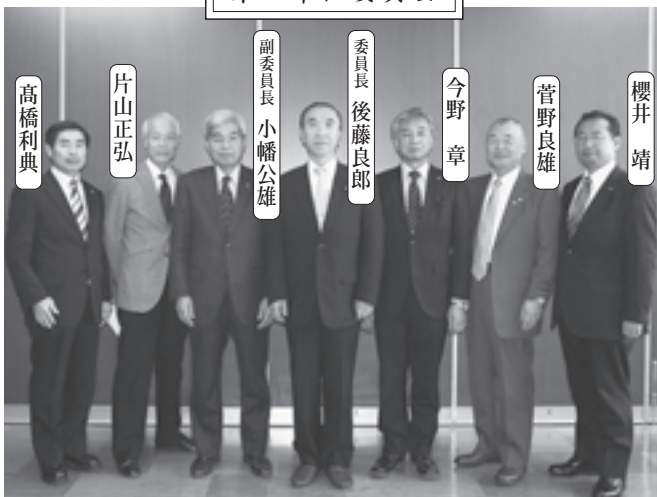
昨年12月の議会議員選挙で新たな議員構成となりましたが町民皆様からの信頼に応え町制発展と、住み良い町づくりのために取組んでまいります。本年は東日本大震災から3年が経過し、復興交付金事業5カ年計画の、4年目を迎え、今後は様々な事業計画が本格化し目に見える形で進んでいく大切な時期であり、議会として注視し取り組めます。町民の皆様には議会広報、また議会報告会開催等で開かれた議会を目指し取組みますので宜しくお願いいたします。

この一年が皆様にとり幸多き年でありますようご祈念し、新年のごあいさつといたします。

松島町議会議長

櫻井 公一

第2 常任委員会



高橋利典

片山正弘

副委員長 小幡公雄

委員長 後藤良郎

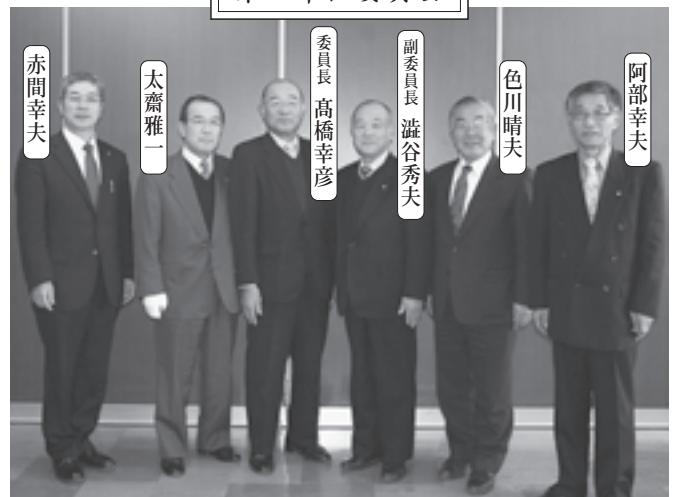
今野 章

菅野良雄

櫻井 靖

町民福祉課、建設課、水道事業所、教育委員会の所管に属する事項を担当

第1 常任委員会



赤間幸夫

大齋雅一

委員長 高橋幸彦

副委員長 澁谷秀夫

色川晴夫

阿部幸夫

総務課、企画調整課、財務課、会計課、選挙管理委員会、農業委員会、監査委員の所管に関する事項並びに他の委員会の所管に属しない事項を担当

議員14名

新しい



議会広報発行対策特別委員会



議会だよりの編集

議会運営委員会



議会の運営を効率的に進めるための活動

阿部幸夫

吉田川流域溜池大和町外
2市4ヶ町村組合

色川晴夫

宮城県後期高齢者
医療広域連合議会

高橋利典
赤間幸夫

塩釜地区消防事務組合

高橋幸彦
後藤良郎

塩釜地区環境組合

今野章
片山正弘

宮城東部衛生処理組合

菅野良雄

監査委員

議員 小幡公雄
議員 今野章
議員 色川晴夫
議員 赤間幸夫
議員 片山正弘
議員 菅野良雄

質疑者

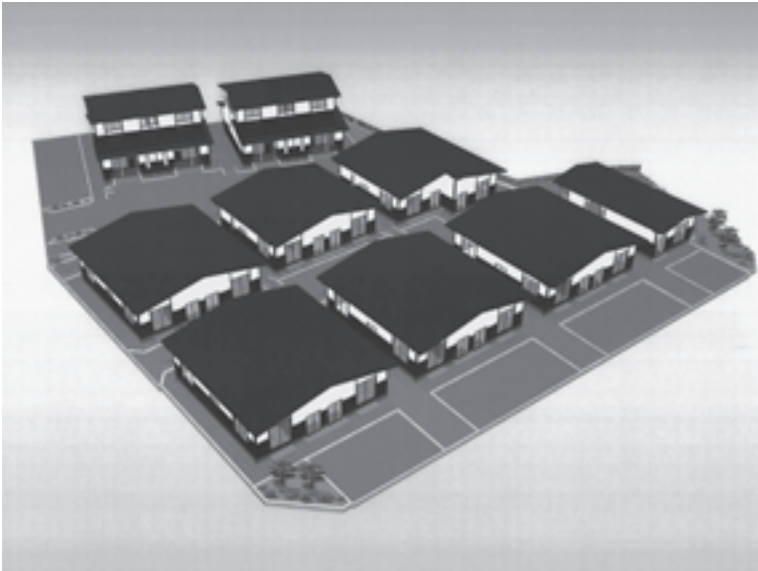
災害公営住宅建設協定(案)可決

計画戸数40戸 6億7,100万円 2ヶ所

建設工事委託に関する協定の締結

主な内容

磯崎華園地区に17戸、美映の丘地区に23戸、合計40戸の災害公営住宅整備建設工事を宮城県に委託する為に必要な協定の締結である。



華園災害公営住宅 (イメージです)

質疑

問1 宮城県と協定をすることのメリットは、どこにあるのか。

答 早急な対応が求められることから、人的なものと財政的なものが県にお願いするメリットである。

問2 地元業者の育成として大工さん等の活用は、どう考えられているのか。

答 災害公営住宅建設は52戸であり、今回は40戸ですので、今後の12戸について、考えている。

問3 6億7千百万円の協定締結額は、資材や人件費の高騰により見直しがあるのか。

答 協定締結額は、標準仕様書に基づく設計金額

で積算されている。今後県が発注を行い、その状況や施工期間において、協定締結額に変更がある場合には議会に諮ることになる。

問4 災害公営住宅への入居辞退や空き屋が出ることはないか。

答 立地条件や他市町村から松島に住んでいる状況を判断すると心配はしていない。

問5 みなし仮設住宅の方々に希望を聞き、その基準と申し込み者数についてはどうか。

答 40戸に対し38名おり、今後改めて公募を行う考えである。また、基準については恒久住宅の建設であり、そのノウハウのある県に委託を行うものである。

賛成全員・可決



全体位置図

86年 ぶりに 庁舎移転

松島町役場の位置を定める条例の制定

主な内容

役場庁舎の移転に伴い、主なる事業所の所在を設定するため、松島町役場の位置を「松島町高城字 歸命院下一9番地の1」に条例を制定するものである。

質疑

問1 改正ではなく制定になった経過は。

答 旧庁舎は、昭和22年制定された地方自治法それ以前に建てられていることから、みなし規定により、改正ではなく制定となる。

問2 新庁舎が建っている状態、役場の位置を定めるのはおそいのではないのか。



答 制定する時期は、総務省の行政実務判例として、着工前から条例を出すのは、適当ではない。また、全員協議会や本議会の中で議論の結果、現在位置に建てたという流れになった。
(記名投票の結果賛成全員)

松島町税条例の一部改正

主な内容

東日本震災により被害を受けた漁業者等の税負担軽減を図るため、法人化等により代替取得した共同利用施設等に係る固定資産税の減免措置を講ずるための改正である。
賛成全員・可決

松島町営住宅条例の一部改正

主な内容

今回の改正は、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の一部を改正する法律に加え、生活の本拠を共にする関係にある相手からの暴力及びその被害者についても準用することになった。

質疑

問1 生活の本拠を共にするとは、どう判断するのか。

答 実質的に生活していると認められている場所で、共同生活の実態が客観的に判断されるべきものと考えている。

問2 入居者に対する費用で、国が10分の5以内を補助するが、本町において入居される場合も国から2分の1の範囲で補助されるのか。

答 町営住宅にDV被害者が入居した場合の措置で県が10分の5、市町村、社会福祉法人その他に認める者が委託して行う場合も認める。
賛成全員・可決

松島町都市計画審議会条例の一部改正

主な内容

まちづくりの重要事項を審議するため、これまでに以上に広い見地に立った委員構成を、委員の任期満了に伴い改正するもの。

質疑

問1 現在の審議員8人を10人とするもので、「会長が審議会にはかつて定める」を「規則で定める」とするものだが、現在までの委員で議論が足りなかったのか。

答 震災以降、都市計画審議会として検討する事業が増加している。土木工学、法律の専門家が必要であることによる。

問2 規則は議会に示されていない。条例を改正する以上この規則も示すべきでないか。

答 審議会の運営に関して、規則委任がない現状では、会長が規則に従って定めていた。今回は規則委任があれば会長が審議会に諮らずとも規則で定められることになり、妥当性はあると考える。

問3 今後、専門分野の方が入ることにより、どう進めるのか。

答 都市計画道路、下水道事業などの中間報告となる。更に景観も含めた審議を予定している。
賛成全員・可決

塩釜地区消防事務組合と 塩釜地区環境組合が統合

塩釜地区消防事務組合の規約変更並びに環境組合の解散及び財産処分

主な内容

消防事務組合規約の変更並びに環境組合の解散及び財産処分は、広域事務の効率化と経費節減が目的であり、この度、構成市町に地方自治法第290の規定による議決が必要とされたものである。

賛成全員・可決

塩釜地区環境組合の 解散及び財産処分

主な内容

今回の組合の解散及び財産処分については、広域事務の一層の効率化を推進するため、塩釜地区消防事務組合に統合することに伴い、塩釜地区環境組合の解散及び財産処分するための提案である。

賛成全員・可決

塩釜地区消防事務 組合規約の変更

主な内容

今回の規約変更は、広域事務の一層の効率化を推進するため、塩釜地区環境組合の共同処理する事務を塩釜地区消防事務組合に統合することに伴い規約の変更を行うものである。

賛成全員・可決

平成24年度 松島町教育委員会 教育行政点検評価の報告

主な内容

教育委員会は、毎年策定する教育基本方針に基づき、具体的施策や重点事業等の実施状況について点検評価を行い、その結果に関する報告を町議会に提出すると共に、公表することが規定されている。

平成24年度における町教育行政の状況は、意図的計画的に教育施設訪問及び研修を実施しており、適切な指導・助言が行われている。

教育委員会は、秋田にかほ市教育委員会を訪問し、研修やにかほ市小中学校での授業参観を通して、本町の小中学校の学力向上の方策を再考する



機会を設け、本町の重点施策である「学力の向上の推進」に向けて、具体的な指導・支援を行っている。

本報告書は、学識経験者の意見を聴取したうえで、教育行政の推進を図ることを目的に編さんされている。

東日本大震災復興対策 特別委員会の設置

災害に強い町づくりめざし議員提案

震災復興の加速のため

に、今議会に前回より引き続き東日本大震災復興対策特別委員会を設置をした。

委員長 阿部 幸夫
副委員長 後藤 良郎

人事

教育委員会委員の任命に同意



瀬野尾 千恵氏 66歳
(松島町磯崎)

現教育委員会委員の大宮可光生氏が平成26年2月24日をもって任期満了となることから、新たに瀬野尾千恵氏を教育委員会委員に任命することに同意するものである。

監査委員の選任に同意(再選)



菅野 良雄氏 67歳
(松島町幡谷)

議員の改選に伴い、議員のうちから選任する監査委員に菅野良雄氏を選任することに同意した。

東日本大震災復興交付金(第7回配分) 9億5,059万5千円が交付決定

国土交通省事業：No 1～No 7、No 9 農林水産省事業：No 8

変更：第6回配分までの採択事業で、第7回配分において測量設計費及び工事費等が追加配分された事業

新規：第7回配分において新たに採択された事業

単位：円

No	区分	交付対象事業名	配分事業の概要	配分額		担当課等
				事業費	交付金	
1	変更	松島地区復興まちづくり推進事業(計画区域内)	復興交付金事業等の復興事業の事業間調整、関係機関協議、住民合意形成等のマネジメント業務	3,625万	2,718万7千	企画調整課 震災復興対策室
2	変更	松島地区外内水対策事業(松島・高城・磯崎地区)	工事費(小石浜地区：排水路施設、雨水ポンプ施設の増設等)	1億7,860万	1億4,288万	水道事業所
3	変更	松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業(避難所)(松島地区・石田沢)	測量設計費(防災まちづくり拠点施設：避難所の建築設計)	4,200万	3,150万	総務課
4	変更	復興まちづくり支援施設整備事業(松島地区・西行戻しの松公園内)	測量設計費(建築工事に係る施工監理費) 工事費(支援施設の建築工事)	1億1,830万	7,886万6千	産業観光課
5	変更	備蓄倉庫整備事業(計画区域内)	用地費(備蓄倉庫の進入路用地) 工事費(備蓄倉庫進入路)	1,076万	807万	総務課
6	変更	松島地区避難路整備事業(松島地区)	用地費・補償費(整備路線・踏切部の用地購入・家屋補償)	1億2,369万	9,276万7千	建設課
7	変更	本郷地区防災広場整備事業(本郷地区)	工事費(防災広場)	3,250万	2,437万5千	町民福祉課
8	新規	漁港施設機能強化事業(手樽地区)[直接補助分]	工事費(銭神・名籠・古浦漁港施設の嵩上げ)	8,250万	6,187万5千	建設課
9	新規	松島地区外下水道事業(松島・高城・磯崎地区)	工事費(小梨屋排水区の雨水ポンプ施設・排水路施設、小石浜地区の排水路施設)	6億4,410万	4億8,307万5千	水道事業所
合 計				12億6,870万	9億5,059万5千	

平成25年度

各種会計 補正予算

質疑者

- | | | | | |
|--------|-------|-------|--------|--------|
| 色川晴夫議員 | 今野章議員 | 櫻井靖議員 | 渋谷秀夫議員 | 赤間幸夫議員 |
| | | | | 後藤良郎議員 |
| | | | | 太齊雅一議員 |

一般会計補正予算 (第6号)

主な内容

今回の補正は、第7回配分交付可能額通知があった東日本大震災復興交付金等について補正するものである。

- 新たに東日本大震災復興交付金に採択された事業
- 漁港施設機能強化事業(手樽地区)、銭神・名籠・古浦漁港施設の嵩上げを行う。
- その他 主な事業
 - 松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業(石田沢地区に避難所を整備するため実施設計を行う)
 - 復興まちづくり支援施設整備事業(パノラマハウスを建替えて災害時の支援施設を整備する)
 - 備蓄倉庫整備事業(手樽地区交流センターに備蓄倉庫を整備するにあたり、用地買収及び進入路拡幅工事を行う)
 - 本郷地区防災広場整備事業(本郷地区に防災広場整備工事を行う)
 - 子ども・子育て支援新制度システム改修事業(町が国のシステムにアクセスし情報を報告・共有するシステムとして改修する)
 - 住宅応急修理制度事業(住宅応急修理制度において精算により所要額を超えた収入を返還する)
 - 松島町ウミネコ等被害防止対策事業(ウミネコの被害・生息数調査及び磯島の草刈り、島々の巢の撤去等を実施する)
 - 災害公営住宅防災広場

整備事業(災害時の一時避難場所として防災広場整備工事を行う)

質疑

問 石田沢の施設やパノラマハウスの利用についてどのように考えているのか、また、管理はどこで行うのか。

答 現在、松島町災害復興官民連携検討会議を立ち上げ、管理方法、運営方法について協議している。管理は、決定ではないが、指定管理者という検討過程でいる。

問 ウミネコ被害を防止するには具体的に何をすればいいのか。

答 ウミネコは天然記念物のため駆除することができない。磯島の草を刈ったり、島にネットを張つ

て巣づくりができない状況をつくることで繁殖を防止被害の防止をはかりたい。

問 本郷地区の防災広場の整備だが、避難場所と

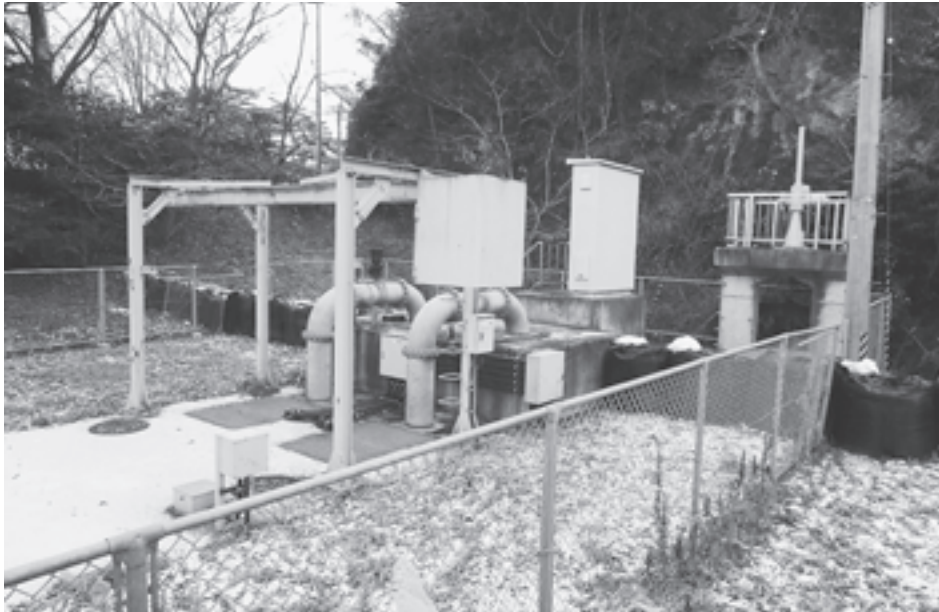
して大雨時の冠水を含め、高さに問題はないのか。
答 津波シミュレーションを行い問題がないと認識している。
賛成全員・可決



解体されたパノラマハウス跡

一般会計 13億4,482万5千円増額 総額 175億433万7千円に

小石浜・小梨屋地区 雨水ポンプ場500ミリ新設



小石浜排水ポンプ場

下水道事業 特別会計補正予算 (第3号)

主な内容

震災対応復興業務等に係る職員の時間外手当等及び東日本大震災復興交付金事業として実施する松島地区下水道事業復興調査設計業務について補正するものである。

賛成全員・可決

質疑

問 小石浜、小梨屋地区の雨水ポンプ場と雨水管渠関係の実設計の計画であるが、現況350ミリ2台ですが、どうなるのか。

答 500ミリ（毎分25トン排出可）を新設する。

問 台風で浸水したが、その対策はどうなるか。

答 一、小石浜川の堤防の高さを1・3メートルかさ上げする。
二、放流渠を大観荘側に

作り45号線を抜いて海へ放流する。
三、小梨屋地区は、仮庁舎脇に地下調整池を内包したポンプ場を設置し、500ミリのポンプ2台を新設する。

平成25年度 各種会計補正予算概況

(単位：千円)

会計名		補正前の額	補正額	計
一般会計(第6号)		16,159,512	1,344,825	17,504,337
特別会計	国民健康保険(第3号)	2,043,168	4,947	2,048,115
	介護保険(第3号)	1,412,193	912	1,413,105
	下水道事業(第3号)	1,295,097	61,299	1,356,396
水道事業会計(第2号)	収支的支出	596,391	△ 1,351	595,040

国民健康保険 特別会計補正予算 (第3号)

主な内容

9月1日付職員の人事異動に伴う職員人件費及び出産予定者増に伴う出産一時金等について補正するものである。

賛成全員・可決

介護保険特別会計 補正予算(第3号)

主な内容

前年度塩釜地区介護認定審査事業負担金の精算金について補正するものである。

賛成全員・可決

水道事業会計 補正予算(第2号)

主な内容

法定福利費の所要額を減額補正し、水道事業費用の総額を5億9504万円とするものである。

賛成全員・可決

平成25年第4回松島町議会定例会 議案採決結果


全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	濫谷秀夫	赤間幸夫	櫻井靖	片山弘	後藤良郎	小幡公雄	高橋幸彦	今野章	太齋雅一	色川晴夫	菅野良雄	高橋利典	阿部幸夫	櫻井公一	賛成	反対
議案第105号	松島町役場の位置を定める条例の制定	12月18日	記名投票 (議長含む)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	0
議案第106号	松島町町税条例の一部改正	12月18日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第107号	松島町営住宅条例の一部改正	12月18日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第108号	松島町都市計画審議会条例の一部改正	12月18日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第109号	塩釜地区消防事務組合規約の変更	12月18日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第110号	塩釜地区環境組合の解散及び財産処分	12月18日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第111号	建設工事委託に関する協定の締結（災害公営住宅整備）	12月18日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第112号	平成25年度松島町一般会計補正予算（第6号）	12月18日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第113号	平成25年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	12月18日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第114号	平成25年度松島町介護保険特別会計補正予算（第3号）	12月18日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第115号	平成25年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	12月18日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第116号	平成25年度松島町水道事業会計補正予算（第2号）	12月18日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第117号	松島町教育委員会委員の任命につき同意を求めること	12月16日	同意 (投票)														-	13	0
議案第118号	松島町監査委員の選任につき同意を求めること 《議選監査委員》	12月18日	同意 (投票)												-		-	12	0
議員提案第12号	東日本大震災復興対策特別委員会設置に関する決議	12月20日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0

賛否の公表



特別多数議決

議案第105号は、「役場の位置を定める条例」の制定です。この条例の表決は、地方自治法の規定により通常の過半数議決は適用されず、出席議員の3分の2以上の者の同意を必要とする「特別多数議決」により議決されました。

特別多数議決の場合、議長は裁決権を有せず表決に加わりません。

なお、特別多数議決は議員及び長等の身分の喪失に係わることや、住民の利害に重大な意味を有するものなどの法で定められた議決にあたり、議決要件を厳格にし、慎重な意思決定をするものです。

町政 Q & A

一般質問

ここが聞きたい

6名の議員が
10件について質問

後藤 良郎 議員 (12ページ) ①子ども医療費助成の拡大について

小幡 公雄 議員 (12ページ) ①ホームページの町長の行動記録の掲載基準は

今野 章 議員 (13ページ) ①カキ養殖の将来展望と支援について
②住宅リフォーム助成制度の開始について

色川 晴夫 議員 (14ページ) ①内水排水対策事業について
②震災復興交付金事業の進捗状況と今後について

菅野 良雄 議員 (15ページ) ①温水プール「美遊」の管理について
②「職員等の旅費に関する条例」支度料について

櫻井 靖 議員 (16ページ) ①松島町交通指導員のあり方について
②松島町文化観光交流館ホール運用について



議員 後藤 良 郎

問 子ども医療費助成の拡大について

答 再来年には実現したい

問 定住化や子育て支援の視点から、子ども医療費助成についての町長の考え方を伺う。

答 本来的に住民一人一人の健康の問題、暮らしの問題、生存権の問題である。最低でも県が標準的なところを設定して、それに合わせた支援をすべきだと考える。

他の自治体と比べて、住民生活の基礎が劣っている場合は改善しなければならぬ。そのためには何らかの手を打っていくことが必要である。

問 7歳から15歳に到達する最初の年度末までの通院時の窓口負担、一部自己負担金の半分を助成する制度を創設すべきと考えるが町長の所見を伺う。

答 近隣の町の状況や県内の状況から考えて何らかの手を打っていく必要がある。財政的などころもあるが、再来年度には実現したいと考えている。



一般質問

問 ホームページの町長の行動記録の掲載基準は?

答 見る側に立ち充実を図っていく

問 誰がいつ、どこで、どのように決定されるのか。

答 ネットワーク管理者の企画調整課長の指示により担当者が掲載する。

問 「広報まつしま」に町長の活動レポートが掲載され、「レポートします」とあるが記者は誰か。

答 チャペルヒル町のレポート記事は、同行した職員が記事にまとめたもの。



議員 小幡 公 雄

問 この一件がホームページの行動記録に載っていない理由は何か。

答 同行職員が町のフェイスブックでリアルタイムに詳細を報告しているため。議員の指摘のとおり見る側に立ったホームページの充実を図っていきたい。



問

カキ養殖の将来展望と
支援について

答

総合的対策を町が主導して

問 カキ養殖は2年連続の不振で、種ガキも足りず通常の2〜3倍で買っている。来年また不作となれば「もうやっていけない」と。この現状に町がどう手だてを打つかは非常に大切な課題だ。それは生産者が生産をし続けられるという意味でも同時に松島の観光にとってもである。まず養殖の現状について伺う。

問 昨年は高海水温でカキの死滅ということだったが、生産者の声をよく聞き湾の調査を行うべきではないか。

答 技術的問題もあり、県や漁協と相談し、湾内環境の変化への対応策を探し実現するようにしていきたい。

問 支援策はどうか。

答 総合的な対策が必要で町が主導して組織を立ち上げ、予算化もする。

答 22年度は86経営体で7万1687kg、24年度は75経営体で2万3474kgと震災前の32・7%の生産量である。



の野 今 議員 章



例年に比べ収穫量が減少したカキの水揚げ

問 住宅リフォーム助成制度の開始について

答 震災対応が終わった段階で

問 大震災前年、「住宅リフォーム助成制度」の創設を提案した時、「興味深い制度だ。町の経済活性化や景観、定住等の手法として積極的に検討したい」「他市町村の例を参考に来年度実施で検討」と答弁されたが、震災で実施は見送られた。一部損壊住宅への支援も終了し、4月からの消費税導入による景気低迷が予想される事から「住宅リフォーム助成制度」を開始させるべきと思うがどうか。

答 震災前の住宅リフォーム助成制度は、白紙に返すということでご理解いただきたい。現在、国で中古住宅に対する助成の考え方が改めて出ており、国の助成制度とあわせて使わせていただくか、また今後も定住化施策等の継続が必要なことから、震災対応がある程度終わった段階で、そういった施策を考えていきたい。



いろ かわ はる お 議員
色 川 晴 夫

問

内水排水対策事業について

答

グリーン広場地下に
調整池機能を整備

問 下水道事業（雨水排水事業）での各地区の進捗状況は。

答 浪打浜のポンプ場計画は文化財規制で断念した。グリーン広場地下に、34m×28mの大きさに3100t貯留できる調整池と水中ポンプを設置して放水を計画している。普賢堂地区については、第2ポンプ場の計画を検討したが厳しい状況である。現在の排水路改修とポンプ場の増強で対応を考えている。蛇ヶ崎地区は、調整池を検討したが、JRとの協議が難しく既

存の排水路を改修し、蛇ヶ崎ポンプ場の増設が可能か検討する。西柳地区は、新町ポンプ場への統合排水と合わせ他の方法を検討する。

問 普賢堂地区に調整池による排水対策の考えはどうか。

答 検討はしたが、調整池からどこに放出するかが問題である。県は高城川への放水量は毎秒10t以下としている。現在9tを越していることから、これ以上の放水は認められないとしている。



整備予定のグリーン広場

問

震災復興交付金事業の
進捗状況と今後について

答

避難道路、避難施設については必ず実現していきたい

問 国道45号歴史館から松島駅までの歩道拡幅工事で、第一小学校までの用地買収は進んでいるのか。また、一小から松島駅までの計画はどうか。

答 歩道整備は無電柱化工事で行う。用地については、一小までの地権者は30人の37筆で、買収に応じた方は、12人の19筆である。また、松島駅までの補償費は26年度と聞いている。

問 港湾関係の進捗状況は。

答 松島公園については、護岸は1923m、高さ2.1mで現在、調整中であ

る。

問 避難路について説明会は終わったのか。また、その反応はどうか。

答 手樽地区は、区を挙げて協力しているが、高城、磯崎、松島地区は時間がかかる。説明し進めていきたい。

問 町長は、小石浜住民に避難路を作ると約束したのか。住民は、「どうなっている？うそをつかれた」と憤慨している。

答 避難路、避難施設については必ず実現していく。



議員 菅野 良雄

問 温水プール「美遊」の管理について

答 早いうちに新たな機器を導入する

問 「美遊」の水着脱水機が長らく故障している。指定管理者の話によれば、故障や損傷で修理代がかさみ町と協定している金額では不足している。指定管理者が持ち出ししている状況であり、脱水機の故障については町と協議中とのことだった。サービスの向上と経費削減を目的にした指定管理者制度であるが、経費削減に偏りすぎるとこのような事態が生じることになる。安全な環境を整えてサービスの向上を図るべき最終責任は町にあるのか。

答 設備等の不備があれば町と指定管理者との協定がある。決まっていなものは協議という流れである。利用者のニーズに応えるということである。内中に更新しようとする機種の選定に入っている。水着脱水機は水着だけを脱水するものでバスタオル等他のものを入れるとモーターの焼きつきを起すので管理者も注意を促している。



温水プール「美遊」

問 「職員等の旅費に関する条例」支度料について

答 支度料は廃止する

問 職員が海外出張する際、航空運賃やホテル代とは別にスーツケースやスーツなどを新調する費用として「支度料」が支給されてきた。しかし、東日本大震災の復興事業に多額の経費を充てなくてはならない時に支度料として公費の支出に疑問の声が上がっており、県内の市町が廃

止を決定している。本町も条例により定められているが、近年、海外出張した町長や同行した議員及び職員の「支度料」「雑費」の扱いはどのような状況になっているのか。

答 24年度は45万8700円、25年度は現時点で6万1990円の支出である。雑費の細かい数字については把握していない。

問 「支度料」と「雑費」の基準が分かりにくい。国際観光都市松島町として海外出張は必要であり、受当な旅費支給が出来るように明確な基準に改正すべきでないか。

答 定額の「支度料」については廃止するという方向でいきたい。

問

松島町交通指導員のあり方について

答

交通指導員は交通事故防止に 欠かせない人材組織

問 指導員を増やす努力や貸与品の充実を図るべきではないのか。

答 指導員の募集についてはチラシ、町の広報の掲載で呼びかけ並びに行政区長会で推薦依頼がいるが、もっと電話、訪問等積極的な呼びかけをしていきたいと思っている。貸与品については指導員の申告により更新を行っている。来年度からは消耗の激しい貸与品について順次更新したいと考えている。職員と交通指導員と話し合いはしているが、なお密に連絡をとって進めていきたい。



さくら い 井
櫻 井

やすし
靖 議員

一般質問



交通指導風景

問

松島町文化観光交流館 ホール運用について

答

安心・安全を 最優先に図っていく

問 文化観光交流祭の最中に火災報知器が鳴ったが、職員の対応に問題はなかったか。

問 ホールが新しくなつて機材も新しくなつたが、職員は操作方法をしっかりと把握しているのか。

答 火災報知器が感知した段階で、避難マニュアルに基づき、避難誘導すべきところ、不適切な行動だったと大いに反省している。今後しっかりとやるよう指示をした。2月にある程度人数を集めて誘導訓練をしたいと考えている。

答 機材の操作については、交流館男性職員は全員全ての機能に熟知して操作ができる。もし疑問があれば検証してほしい。また演目によっては専門の方に操作を依頼する体制をとっている。

一部事務組合議会報告

宮城東部衛生 処理組合議会

11月6日、平成25年第3回定例会を宮城東部衛生処理組合会議室で開催された。

提出議案は

①議長選挙

多賀城市議の佐藤恵子さんが議長として選出された。

②平成24年度宮城東部衛生処理組合会計歳入歳出決算は予算現額8億4124万3千円に対し、歳入決算額は、8億5846万5697円、歳出決算額は8億3052万2597円となり認定された。

③平成25年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算については原案どおり可決された。

後藤良郎議員
今野章議員

塩釜地区 消防事務組合議会

10月21日、平成25年第3回定例会を塩釜地区消防事務組合消防本部会議室で開催された。

提出議案は

①専決処分報告

物件損害事故による損害賠償の額の決定

②平成24年度塩釜地区消防事務組合一般会計決算の認定

③平成24年度塩釜地区消防事務組合介護認定審査事業特別会計決算の認定
平成24年度塩釜地区消防事務組合障害者自立支援事業特別会計決算の認定

④財産の取得

行政報告

火災発生件数は49件で、前年より15件の増、救急出動件数は、6165件で前年より144件の増であった。

以上、提案された議案は、原案どおり可決された。

高橋幸彦議員
太齊雅一議員

塩釜地区 環境組合議会

10月21日、平成25年第3回定例会を塩釜地区環境組合会議室で開催された。

提出議案は

①平成25年度塩釜地区環境組合業務実績報告

25年4月から9月までの6カ月の実績。
生し尿及び浄化槽汚泥搬入実績。()内は松島町。

・生し尿4138・23t (1741・72t)、
前年同月比で△287・07t (3532t)であった。
浄化槽汚泥1634・

07t (572・03t)、
前年同月比+97・42t (△11・42t)であった。

塩釜斎場・火葬実績は、
二市三町全体で803件(81件)、前年同月比で34件増(11件)であった。

②平成24年度塩釜地区環境組合会計決算認定について

予算現額3億9300万円に対し、歳入総額3億9546万円、歳出総額が3億8732万円、歳入歳出差引額は816万6647円となった。

816万6千円を基金繰入金とした。

③監査委員の選任

現監査委員及川智善議員の辞職により、新監査委員に木村範雄議員が選任された。

高橋辰郎議員
片山正弘議員

一部事務組合の消防と

環境が統合されます

平成25年第2回塩釜地区広域行政連絡協議会において両組合の統合方針(案)を協議し、組合議会

への方針(案)を報告すべき状況を資料で説明された。

●2組合の統合により、広域事務の一層の効率化の推進を図る。

●消防事務組合に環境組合を吸収統合し、塩釜地区環境組合は解散される。

●塩釜地区消防事務組合の

正副管理者5名、議員数は12名。

●環境組合の職員は、統合後の消防事務組合の職員として任用。

●統合による削減経費については、1557万3600円と試算。

●環境組合の解散時期は平成26年3月31日。

再編統合の新消防事務組合は、平成26年4月1日よりスタートします。



町民の声



郡山宗浩さん
(桜渡戸)

松島町PTA連合会から

松島町PTA連合会の立場からになりますが、昨年十月二十三日に町P連と松島町教育委員会との意見交換会を実現させて頂きました。一昨年に続き二回目の開催となりましたが、非常に有意義な時間を共有する機会を頂きまして改めまして御礼申し上げます。各小中学校では校長先生を初め先生方には、大変お世話になっております。子供達の教育には家庭、学校、地域の連携が大事といわれておりますが、もう一つの核が行政です。一昨

年から新学習要領が実施となり現場も大変な事とは思いますが、ゆとりでも詰め込みでも無い、新スローガンの生きる力実現の可否は町の力の入れ方次第で左右されるものとも認識しております。松島町議会の皆様方におかれましては、町内の子供達に関わる環境の要望等も益々、多岐に亘る事が予想されますのでこれ迄同様ご支援の程宜しくお願い致します。

次回3月の定例会は
3月初旬開催予定です。
ぜひ、傍聴においで下さい。



宮津市議会より視察来町

11月18日に京都府宮津市議会の産業建設福祉委員会の皆さんが来町し、町の災害・復興事業の現状について被災現場を視察されました。

また、宮津市より災害支援の職員を派遣していただいています。



磯島を視察

宮城黒川地方町 村議会議長会 「自治功労者表彰」

赤間洵氏（前議員）が11月8日に宮城黒川地方町村議会議長会より、議員として多年にわたる功績が認められ表彰を受けました。



町のホームページから
議会だよりが検索できます！

ホームページアドレス
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp/>
議会Eメール
gikai@town.matsushima.miyagi.jp

編集後記

昭和60年1月1日（4千624世帯・1万7千702人・議員22人）の創刊号発行から今回の議会広報で第117号です。「議会審議並びに議会活動を伝える目的で、広報委員会6名が行ない、公平・忠実・迅速で読み易く、魅力ある議会広報をめざす。」（議会五十年史）とあります。新年を迎え（5千500・1万5千121人・14人）8日、新メンバーによる委員会が開かれました。中にパソコンで編集する委員がいましたが、やがては編集ソフトが導入され、効率的に作業ができることでしょう。デジタル時代に入り、映像配信が広報の課題となるでしょう。エレベーター付き3階の新議事堂は、傍聴席も整備されており、皆さまお気軽に傍聴にお出かけ下さい。（小幡公雄）

議会広報発行対策特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 小幡 公雄 |
| 副委員長 | 櫻井 靖 |
| 委員 | 赤間 幸夫 |
| 委員 | 色川 晴夫 |
| 委員 | 高橋 利典 |
| 委員 | 阿部 幸夫 |